

令和 8 年度 第 1 学 年 経 営 案

【在籍数】男子 72 名、女子 46 名、計 118 名

【学年主任】渡邊 恵美

《学年の実態》

個々の支援が必要な生徒が多い。自然に声をかけ、手助けをする様子も見られる。言葉遣いや振る舞いが粗雑な生徒もいる。

1. 学年目標

- 一、自分の気持ちを表現しよう
- 一、他人の気持ちを考えよう
- 一、感謝の気持ちを大切にしよう

2. 学年経営方針

(1) 学力向上

- ・授業や錦中コンテスト等の学校での学習と、AI 型学習アプリを活用した家庭での学習につながりをもたせ、自ら学習する姿勢を確立し、学力の向上を図る。
- ・ICT を活用し、協働的な学びを実践し、思考力・判断力・表現力を育成する。

(2) 豊かな人間性の育成

- ・学校行事・学年行事を通して、自己肯定感と相手のよさを認め、寄り添う「共感力」を育てる。
- ・規範意識の徹底と、けじめのある生活態度を身に付けさせる。
- ・学年教員全員の指導により、思いやりのある、自主性をもった生徒を育成する。
- ・「Inspire high」を活用し、答えのない問いを考える「探究的な学習」に取り組むことで、生徒の好奇心、創造性を引き出す学びを推進し、「想像力」を高める。

(3) 家庭との連携強化とともに地域や関係諸機関との積極的連携

- ・家庭との連絡を密に取り、信頼関係を構築していく中で学校の指導方針・指導内容に対し理解を得て、家庭と学校が同じ歩調で指導を行えるようにする。
- ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、子育て支援センター等の外部機関との連携を通して、相互理解を図る。

3. 指導の重点

- (1) 複数担任制を生かし、担任間の情報交換、共通理解を密に取りながら、生徒一人一人のよさを認め合い、寄り添った指導にあたる。
- (2) 錦中コンテストをきっかけに学習意欲を高め、基礎学力の向上を図る。
- (3) 総合的な学習の時間では、生徒が自主的に課題を見つけ出し、学んだり考えたり判断する「探究活動」を行うことで、課題解決のための資質や能力を育成する。
- (4) 自己をよく理解し、将来の進路についての関心を高め、進んで自己の進路を切り拓く生徒を育成する。
- (5) i-check を通して学級集団、個の実態を把握し、学年経営・学級経営の充実を図る。

4. 経営方針の具体策

(1) 学力向上

- ・授業を大切にする姿勢を大切にするとともに、家庭学習の習慣化で、基礎学力の定着を図る。
- ・最後まできちんとやり通させる粘り強い指導にあたることで、学習への取組の重要性を再認識させる。
- ・タブレット端末を活用し、自らの考えを表現する活動を充実させる。

(2) 豊かな人間性の育成

- ・生活指導は学年教員全体であったり、いじめは絶対に許さないという強い姿勢を生徒に意識させる。
- ・行事・ボランティア活動に積極的に取り組ませ、生徒の自主性・自治的能力を高めることでリーダーを育成する。
- ・班長会を通して席替えを行ったり、班での活動を重視したりすることで、リーダーの育成を図る。

(3) 家庭との連携強化とともに地域や関係諸機関との積極的連携

- ・学年だよりを発行して生徒の活躍を伝えとともに、啓発活動を行う。
- ・高校の先生の話や面接練習会等の進路学習を通じて、自ら考え、自らの手で進路を切り開く指導を行い、家庭にも協力を要請する。
- ・特別支援コーディネーターと協力して、スクールカウンセラーや子育て支援センター等の外部機関との連携を密にし、特別支援の体制を充実させる。